

令和7年度 学校評価(資料)

1. 学校教育目標

「自立・協働・創造」

・自立…自分で考えて選択や行動する力を育成する。

課題に自ら立ち向かう力を育成する。

・協働…他者を尊重し、他者を認め、他者から学ぶ力を育成する。

異なる多様な他者と協働して、課題解決する力を育成する。

・創造…課題解決や目的達成のために、柔軟かつ最適な解決方法を創り出す力を育成する。

2. めざす子ども像

・自ら学び行動する子ども

・自他敬愛の心を持ち、協力する子ども

・最後まで粘り強くがんばる子ども

3. 基本方策

(1) 確かな学力と自立を育む教育の充実

(2) 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

(3) 教職員の資質と指導力の向上

(4) 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実

(5) 社会に開かれた学校づくりの推進

(6) 学びのセーフティネットの構築

4. 重点項目

(1) 確かな学力と自立を育む教育の充実

重点項目	本年度の取組み 及び指標	結果	分析(成果と課題)
「わかる」「できる」授業の充実	○1人1台端末を活用した個別最適で協働的な学びにより、「主体的・対話的で深い学び」の実現のため、日々授業改善に取り組む。 児童アンケートで「タブレットを使った授業はわかりやすい。」に肯定的回答をした児童の割合 85%以上 (R6:82.7%)	児童アンケートで「タブレットを使った授業はわかりやすい。」に肯定的回答をした児童の割合 80.4%	「タブレットを使った授業はわかりやすい。」について8割の児童が肯定的な回答を行っていることについては、教職員の授業の工夫の結果である。 今年度タブレットの活用については、思考ツールを活用し、子どもの思考の見える化を図るとともに、子ども同士の意見交流の場面や、授業の「振り返り」など、効果的な活用はできている。
家庭学習の充実	○自学自習の定着に向けて、家庭学習においてタブレット端末を効果的に活用する。 児童アンケートで「家で、学校の授業の復習・予習をしている。」に肯定的回答をした児童の割合 55%以上 (R6:44.5%)	児童アンケートで「家で、学校の授業の復習・予習をしている。」に肯定的回答をした児童の割合 53.1%	「授業では問題を解決するためにいろいろな方法を見つけることができる。」については、教職員がはじめから「1通りでは解けない」課題の設定や、個人思考の場面で「2つ以上考える」ことの教員側からの声かけなどを取り入れている結果である。
探究的な学習活動の充実	○総合的な学習の時間をはじめとする探究的な学習活動において、児童が多様な情報を活用し、異なる視点で意見を交流して互いの考えを深めるなど、協働して取り組む学習活動となるよう工夫を図る。 ・児童アンケートで「授業では問題を解決するためにいろいろな方法を見つけることができる。」に肯定的回答をした児童の割合 75%以上 (R6:72.4%)	児童アンケートで「授業では問題を解決するためにいろいろな方法を見つけることができる。」に肯定的回答をした児童の割合 74.1%	「家で、学校の授業の復習・予習をしている。」については、次年度に向けての課題として捉え、家庭学習の充実に向けた取り組みを引き続き検討していく。

(2) 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

重点項目	本年度の取組み	結果	分析(成果と課題)
児童の自己肯定感の向上を図る取組の充実	<p>○日々の授業や学級経営において、肯定的な言葉がけを行い、児童の自己有用感を向上させる。</p> <p>「自分のよいところを知っている。」肯定的回答 60%以上 (R6:55.5%)</p>	<p>「自分のよいところを知っている。」</p> <p>(肯定的回答) 61.7%</p>	<p>子どもたちの自己肯定感を高める必要性について、教職員間での共有化が図れた。</p> <p>今後は、自分自身を見つめる時間・振り返りの確保を意図的に取り入れる。</p>
体力向上の推進	<p>○体を動かすことを楽しみ、積極的に運動しようとする意欲を高める。</p> <p>「運動は好きですか」肯定的回答: 男子 90%・女子 80% 以上 (R6:男子 91%、女子 77%)</p>	<p>「令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」で「運動は好きですか」(肯定的回答) 男子 88.6%、女子 70.3%</p>	<p>「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果を踏まえ、授業における「めあて」、「振り返り」活動の充実など授業改善を図る。</p>
食に関する指導の充実	<p>○給食指導を含む食に関する指導を充実させ、児童が食事の重要性を学び、健全な健康管理ができるようにする。</p> <p>栄養教諭による通常の学級における食に関する指導を年4回は実施する。</p>	<p>栄養教諭による通常の学級における食に関する指導を年5回実施。</p>	<p>食に関する指導の全体計画の見直し及び充実を図る。</p>

(3) 教職員の資質と指導力の向上

重点項目	本年度の取組み	結果	分析(成果と課題)
学校における「働き方改革」の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○会議資料の事前共有 ○授業準備にかかる時間の確保 職員アンケートで「超過勤務縮減に向けて、自身の業務に対するタイムマネジメントや業務改善を意識した働き方を行っている。」に肯定的回答をした職員の割合 65%以上 (R6:57.1%)	「働き方改革を進めることで、意欲的に働き、自分の能力を高めることができた。」に肯定的回答をした職員の割合 45.0%	<ul style="list-style-type: none"> ○提案資料に①「共有」、②「選択」、③「検討」と記載することにより、これまで、1時間を費やしていた会議時間を40分に短縮。 ○職員室内の「探し物がすぐ見つかる」環境整備として、棚の扉を外し、中が見えるように改善を図った。
初任期指導体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ○○初任者指導教員を中心に日常的な OJT による実践的な研修を組織的・継続的に推進する校内体制を整える。初任期を対象とするミニミーティングを年間6回程度開催する。 	初任期を対象とするミニミーティングを年間6回開催。	<ul style="list-style-type: none"> ○「こうなったらいいな」を発信する場の設定 終礼において、業務改善をしたい点など、素朴な「こうなったらいいな」と思ったことを発信できる環境を整備。

(4) 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実

重点項目	本年度の取組み	結果	分析(成果と課題)
支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○個々の教育的ニーズを踏まえた教育課程の改善。 ○支援教育の視点を通常の学級にも取り入れ、子どもたちの「安心」につなげる。 保護者アンケートで「先生は、わかりやすい授業づくりに向けて努力している。」に肯定的回答をした保護者の割合が 85%以上 (R6:83.5%)	保護者アンケートで「先生は、わかりやすい授業づくりに向けて努力している。」に肯定的回答をした保護者の割合が 88.4%	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの資質・能力の育成に向け、一人ひとりの特性や学習進度、学習到達度等に応じた指導方法・教材、学習時間等の柔軟な設定を行う。 支援教育について、保護者・地域の方に幅広く理解を深めていただくため、引き続き、支援教育に関する情報の発信を続けていく。

(5) 学びのセーフティネットの構築

重点項目	本年度の取組み	結果	分析(成果と課題)
いじめの未然防止と早期発見	○いじめの定義の教職員の理解向上といじめ認知後の組織的対応の強化 児童アンケートで「先生は困ったときにいつでも相談にのってくれる」に肯定的回答をした児童の割合が85%以上(R6:82.7%)	児童アンケートで「困ったことや不安があるときに、先生や大人に相談ができる」に肯定的回答をした児童の割合が56.5%	今年度は、中学校区において、市教育委員会の指導主事による「生徒指導」の研修を開催し、子どもの心理的安全性の確保にむけ、子どもの自己肯定感を高める生徒指導の充実を図った。

(6) 社会に開かれた学校づくりの推進

重点項目	本年度の取組み	結果	分析(成果と課題)
情報発信の充実	○学校ブログを中心とした情報発信の強化 学校ブログは、課業日における1日当たりの平均記事数3以上。ブログ記事には、行事や取組の紹介にとどまらず、その都度、校長の思いや願いも発信する。	学校ブログは、課業日における1日当たりの平均記事数6以上発信。	保護者・地域の方に、少しでも学校の様子を知ってもらうために、学校ブログを有効活用できた。 次年度も引き続き、学校の日常的な情報について、発信を続けていく。

■ご意見等